

# 北海之光

4月号 北海道教区報

主にあってはあなたがたの  
 労苦がむだになることはない  
 コリントI 15章58節

発行所 北海の光社  
 001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12  
 日本聖公会北海道教区事務所  
 電話 011-717-8181  
 F A X 011-736-8377  
 E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp  
 http://www.nssk-hokkaido.jp  
 発行人 植松 誠

## 『神に愛されていると自覚する人は、 必ず他人を愛する』

札幌キリスト教会 牧師補  
 執事 エリザベツ 阿部 恵子

現在、この世界において、キリスト教、イスラム教、仏教が三大宗教と呼ばれています。これら各宗教の導き手として、イエス・キリスト、ムハンマド、仏陀がいます。これらの宗教が世界的に広がった共通要因には、「階級、民俗、国籍、人種、言語」の壁を超えたと言うことがある一方で、キリスト教には他宗教と全く異なる相違点があります。それは、ムハンマドが六二歳、仏陀が八〇歳、そして、イエス・キリストが三三歳で亡くなったと言ふ事実の後、イエス・キリストだけは、死から三日目に甦り復活されたと言ふことです。死者の甦りは、いつの世においても信じることは、簡単なことではありません。ですが、聖書には復活された主に出会った数々の証人や出来事について語られているのです。

主の遺体が亜麻布に包まれ、

岩に掘られた新しい墓に納めたのは弟子のヨセフです。その墓の入口は男の人が二〇人でも動かすのが困難な重さの石(一、五、二七)で塞がれ封印されました。その一部始終を確認するように見守っていたのが、マグダラのマリア、ヤコブの母マリアなどの婦人達です。そして、彼女達が、三日目に墓の入口の石が脇に転がされ、墓の中に主の遺体は無く、主の復活について話す天使と、主が包まれていたはずの亜麻布を見たのです。

復活の主は、マグダラのマリア達の前に、エマオへ向かうクレオパ達に、そして、一人の弟子達に現われ、手足を見せ、触らせた上、焼いた魚を彼らの前で食べたのです。その間、不在だったトマスが、主の手に釘の跡を見、脇腹の傷に手を入れてみなければ信じられないと言ふと、主はトマスの不信を取り去る

ように、手を見せられ、脇腹に手を入れることを許された上で、「信じる者になりなさい」、「しるしを見ないで信じる人は、幸いである」と主を信頼するようにと語られたのです。二〇〇年前の事です。

復活の主が生きた所からはるか遠く離れた、ここ日本でもただ復活の主を信じて、日本人の為にキリスト者として生きた人がいます。賀川豊彦と言います。彼は、大正・昭和期にキリスト教を宣教し、「労働組合」「生協」「農協」などの基礎を作った社会運動家で、若くして肺結核を患いました。静養中のある日、一宣教師が彼を見舞おうと病室を訪ね、ドアをノックすると、賀川は「自分は伝染性の病にあるので入ってはならない」と面会を断ると、その宣教師は「私は病気の伝染性よりもっと強い伝染性のある『神の愛』を持って来た」と言つて、彼の病床で神の愛、キリストの愛について説いたのです。これ以後、賀川豊彦は一生涯クリスチャンとして、真実に神の愛を悟り、人間愛に生きたのも、神に愛されている子としての自覚から出たからなのです。

「神に愛されていると自覚する人は、必ず同胞人類を愛する愛となつてあらわれる」と言われます。創造された私達人間を同胞として、愛する愛となつてあらわれて下さったのが、み子イエス・キリストです。その愛は自己犠牲を惜しまない他者本位の愛、つまり、アガペーの愛、無償の愛なのです。主が洗礼者ヨハネからヨルダン川で洗礼を受けられた時、天が開け、神の霊が鳩のように主の上に降り、「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」と言う声が天から聞こえたと、聖書が語るように、主は神の愛をいつも身に帯びていたことを自覚していたからこそ、私達人類を救うために死なれ、約束されていたように三日目に甦られたのです。ここに真理があつてこそ、賀川豊彦が力づけられ、二〇〇年前から現代に生きる世界中の人々に希望が与え続けられているのです。

今年も世界中で主の復活を信じ、一人でも多くの人が救われますように。主に感謝。



前列右から2人目奥田貞子さん

—心の窓をひらく—

# 福音と私(二二五)



—今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか—

新冠聖フランシス教会信徒

ルツ 奥田 貞子

## 【好きな聖句】

「求めよ、そうすれば与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば開けてもらえるだろう」

(マタイ七章七節)

私は母方の祖父母がキリスト信者で、朝夕の家庭礼拝で

## 【聖書を読み「讃美歌を歌う」

ことを、どんな時も必ず行っていました。ヨセフ物語やフランダーズの犬など色々子どもの時に読みました。そんな祖母の所が大好きで育ちました。兄が酪農大学の初代学長の樋浦 誠先生の開いた「三愛塾」に出席して信仰を深め、多くの農業知識を学び、その後、興部教会でハウレット先生から洗礼を受けました。

私はその後、道北三愛塾に出席しました。道北センターは名寄市に在り、信仰と地域のためにハウレット宣教師が館長として働いていました。昭和三八年三月に洗礼を受け、妹は四二年に同じハウレット先生から洗礼を受け、五人兄弟姉妹の三人が信者に

なったのです。

三八年四月から名寄の店で働きました。道北センターの事務の宮島美智子さんの紹介でした。美智子さんの御主人はアメリカのカリフォルニアに短期農業実習生として働いていました。その中に奥田康嘉もいたのです。

「奥田君はいい人だよ」とその人が言い、「宮島さんがそう言うのだから」と信じました。宮島さんは牧師さんに成り、和歌山、滝川、浦河、今は退職して執筆活動をしております。

初めて日高線にゆられて新冠駅に宮島さんと二人で降りました。丁度その時、日高青年塾の一回目が開かれていた時でした。浅川義一さんが町に寄贈して出来た「青年の家」で、塾長は樋浦先生でした。その日は日帰り、次は五月に三日ほど泊まり、畑仕事も手伝い、夜は聖フランシス教会の礼拝に初めて出ました。

牧師さんは小貫雅夫先生、ヨシア記一章九節の説教でした。満州引揚者と本州からの

戦後開拓者の方々が苦勞して開いた地域でした。近くに教会があり、矢澤信明先生が開拓者のお医者さんとしていたのです。聖フランシス教会のために多くの仕事をし

て下さりました。四一年一月一六日、その教会で小貫先生が北見から来てくださり、矢澤先生御夫妻の仲人で、教会員の皆様に世話に成り、奥田の一員に成りました。

あれから五二年、多くの事がありました。夫はアルツハイマー型認知症で施設でお世話になって、母も同じ施設におりました。内海先生が訪ねてお祈りをして下さると「アーメン」と夫が言ってくれるのを、うれしく励みにしています。去年の七月に母は転んで骨折。そこは手術で治ったのですが、すい臓ガンが見つかり、体力が落ちて来

ました。

一月二七日、内海牧師に病床で洗礼式をしていただきました。祈りの後、義母ははっきりと「アーメン」と言ったので、立会いの義妹夫妻(ク

リスチャン)はビックリ、感謝でした。洗礼名はナオミ静江、夫はボアズ、私はルツ。「ルツ記」から内海先生が考えて

くださいました。

義父はお寺に納骨しておりましたが、四年前に教会の納骨堂に移してあります。義母は二月一七日、九五歳一ヶ月で長い開拓の旅路を終えました。五人の子どもを育てて、酪農を、家事をこなし働きの。母の事を良く知っている横山牧師と内海牧師で、天国へ行く道をみちびいて下さいました。

あの「アーメン」の言葉が私のこれからの信仰に力を与え、一家が神様のもとに集えた事に感謝です。私達の長男はこの教会で洗礼を受け、結婚式もここで教会員の皆様にお世話に成り、今二人の子どもに恵まれて江別におります

が、一家で教会礼拝を守る事が多い事を祈っています。

今は酪農をやめました、が、「神を愛し 人を愛し 土を愛す」—三愛の精神を忘れずに生きていきたいです。感謝

常置委員会報告

第五回 三月二六日

協議事項

- 一、決算承認の件
- ・ 財政部より提出された二〇一八年度教区会計決算書を精査し承認した。
- 二、「出会いと交わりの日」の経費の件
- ・ 昨年同様の拠出をすることとした。
- 三、宣教一五〇周年に関する件
- ・ 宣教二五〇周年(二〇二四年)のために準備を整える事

四、「召命黙想会」など聖職

への献身者養成の件

・ 献身者のリクルート、聖職

養成の様々なあり方について

協議を行った。

五、ランベス会議に関する件

(二〇二〇年七月二三〜八

月二日)

・ 植松主教の参加を承認した。

来年一月より募金を開始す

る。

六、「広島平和礼拝二〇一九」

の件

・ 教役者、青年各一名の出席

を確認した

七、教区主教の休暇に関する

件(七月一〜一〇日)

・ 教区主教の休暇を承認した。



主教室より

先月、東日本大震災八周年の記念行事に出るために仙台に行った際、市内の北山墓地にあるウォルター・デニング司祭のお墓参りをしました。広い墓地の一角、輪王寺というお寺のそばにキリスト教墓地の区画があり、仙台基督教会墓地と、その周りに聖公会関係者のお墓もあります。そこからかなり離れたところに、デニング司祭の墓がポツンと立っています。古さを感じさせる質素な墓石の正面には「英国人傳仁之墓」と刻まれています。墓石の左側面には、横文字で「ウォルター・デニング 一八四六〜一九一三」、そして彼の

出身地が「英国デボン州オットリー、セントメアリー」と刻まれています。どこにも彼が聖公会の司祭であったことは記されていません。聖公会墓地から離れ、外国人墓地の一隅に漢字でこのように刻まれた墓が、北海道に最初に聖公会の福音を伝えた宣教師のものであるということ、よほど注意しないと分からないでしょう。

デニング司祭は一八七四(明治七)年五月一六日、英国聖公会の宣教協会CMSから函館に派遣された最初の宣教師でした。また切支丹禁制が解けてすぐの時代、筆舌に尽くし難い多くの困難の中で、宣教師として、めざましい功績をあげ

た人です。まさに、今の北海道教区の生みの親であり、土台を築いた人でした。しかし、八年後、デニング司祭は神学上の問題からCMSを解任され、傷心で函館を去り、仙台の旧制第二高等学校(現東北大学)の英語教師になりました。函館を去った後、彼が聖公会の教会に行ったという記録はありません。彼がどのような思いでその後の生涯を仙台で過ごしたのかわかりませんが、彼が北海道の福音宣教に全身全霊を傾けたことは事実です。

デニング司祭の墓前にぬかずき、祈りながら、彼の享年が今の私と同じ六七歳であったことに気づきました。嗚呼、傳仁。

主教 ナタナエル 植松 誠

堅信式受領 おめでとう

- 函館聖ヨハネ教会
- タビタ 久保田早苗
- リディア・ローザ 川岸 秋
- アンセルム 佐藤 昂
- クレメンティア 佐藤 恭子

(三月一七日)



十 教区逝去教役者 記念聖餐式

五月八日(水)

午前一〇時三〇分

於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

司祭 岩田 慶次郎

伝道師 山田 致人

一九〇二年五月九日

伝道師 伊勢田 清美

一九三七年五月九日

伝道師 ペネロピー アン

フィッシャー

一九八九年五月一日

司祭 佐藤 信康

二〇〇九年五月一日

伝道師 エディス ルイーザ

ベアトリス ノートン

一九五二年五月一日

司祭 與賀田 千秋

一九九七年五月二八日

司祭 伊東 松太郎

一九三七年五月三二日





### 神学生を囲む会報告

神学生養成委員長

トマス 荒木道郎

三月二十四日午後、三浦千晴神学生を招いて教区会館八角堂で二年振りに神学生を囲む会を開催。八〇名が集まった。

## 2019 神学生を囲む会

2019.3.24 (大斎節第3主日) 教区会館八角堂

司会は夏堀ヒロ子姉。荒木道郎委員長の開会の辞と祈りの後、聖書朗読、上平未奈姉の奏楽で聖歌合唱、植松主教による挨拶・ゲスト紹介と続く。三浦姉は札幌キリスト教会出身、同教会や教区事務所

大きなお働きをされた。一年間の在学報告として神



管委員長として  
職員や歴史文書保  
管委員長として  
学校での学びや校外での実習  
について、またその際に見聞  
きし体験し考えたお話を伺っ  
た。神学校では学生が数名と  
少なく、特に三浦姉の学年は  
同級生皆無という教師学生共  
に辛い環境の由。お話の中で  
私たちにとつてうれしかった  
のは、最近、夫君が受洗の恵  
みに与られたことだった。  
横山光紀兄による食前の祈り  
の後に会食。恒例の札幌四教  
会の婦人会提供の心のこもつ  
た食事とデザートを頂いた。  
多くの方々による、手料理の  
持寄りに身も心も満たされ  
た。  
応援スピーチのトップは同  
委員会担当の下澤晶司祭。大  
学時代からの長い付き合いと  
いうことで北海道教区の聖職  
と信徒の交わりの深さを改め  
て感じた。出身教会の阿部恵  
子執事から同世代の女性の立  
場からの激励もあり、福島康  
高兄のエールも頂き、神学校  
卒業生として上平更執事の応  
援の辞も寄せられた。下田尊  
久兄からは三浦姉の歴史委員  
長時代のお働きが文書で寄せ

られ、上平執事が代読。池田  
亨司祭は初の来道時の三浦姉  
との出会いを含めた暖かい交  
流について話された。さらに  
札幌キリスト教会の四人の子  
どもたちによるかわいいイー  
ル表明もあり、満場の拍手喝  
采を受けた。

三浦姉の愛唱聖歌「主よ我  
が身をとりえたまえ」を歌  
い、来月新委員長就任の山崎  
典美兄による閉会の祈りに続  
き、主の祈りと主教から祝  
を頂いて無事終了。大斎節最  
中の私たちにとつて信仰につ  
いて改めて考えるよい機会と  
もなった。主に感謝。

### 聖霊に導かれて

エリサベト 三浦千晴

主のみ名を賛美します。  
常日頃、尊きお祈りとお支

えをいただいております。こ  
と、北海道教区のすべての聖  
職と信徒の皆様へ感謝申し上  
げます。またこの度は、「神  
学生を囲む会」を催していた  
だき、重ねて感謝いたしま  
す。悪天候にもかかわらずお  
集まりいただいた多くの方々

に、数々のねぎらいの言葉を  
掛けていただき、また暖かな  
眼差しを向けていただきました  
。本当に有り難うございま  
した。懐かしい故郷の人々に  
再び会えることは、この道を  
歩む上で大変大きな力となる  
こと実感いたしました。

東京の聖公会神学院に入学  
して、早いもので一年が過ぎ  
ました。朝の祈りで始まり、  
夕の祈りに終わる一日を過ご  
せることは、まさに神様の恵  
みに満たされた生活です。そ  
の生活を私を含め六名の神学  
生と共に営みました。時に祈  
り、時に歌い、時に働き、時  
に議論し、最後に食事を共に  
します。そのひと時ひと時に、  
主が共にいて下さっているこ  
とをこれからも常に覚えてい  
きたいと思えます。

「神学生を囲む会」では、  
エレミヤ書第一章四節から八  
節が朗読されました。その中  
の一節に「わたしがあなたを、  
だれのところへ遣わそうと  
も、行ってわたしが命じるこ  
とをすべて語れ。」という箇  
所がありました。エレミヤに

臨んだ主の言葉です。その言  
葉を受けてエレミヤは、困難  
な時代を、神様の支配とは何  
か、神様ののみ言葉を信じて生  
きぬくとはいかなることかを  
身をもって示したのです。神  
様が命じることを、すべての  
人々に語るることによって。

神学院では、ギリシャ語を  
始め、実習を含めて多くの科  
目を学びました。それらは  
すべて、「神様が命じること」  
を学び、皆様にそれをお伝え  
するためにやっていくことで  
あると理解しております。い  
つの日か、北海道教区の皆様  
のもとに遣わされ、神様から  
預けられているそのみ言葉  
をお伝えすることができま  
すように、聖霊の導きをこれか  
ら祈り求めてまいりたいと思  
います。



# 十字架は新たな旅への出発のしるし

## 大斎始日(灰の水曜日) 礼拝説教より

司祭 ペテロ 大町 信也

大斎始日の前日、教会の玄  
関前に数人が集まり、祈りを  
捧げシユロの十字架を火に  
委ね灰にしました。一年前、  
青々としたしゅろの枝は刈り  
取られ、枝から一枚一枚の葉

葉に過ぎないような人間性を  
引き受けられました。そして、  
十字架の死という避けがたい  
「ゴール」まで一人の人間と  
しての生涯を地上で全うされ  
ました。

に分けられ、一人の人の指先  
によって十字の形に折られま  
した。その十字架は炎となり  
赤く燃え、燃え尽きて漆黒の  
十字架となり砕かれて灰とな  
り、棕櫚の木を育てた大地に  
チリとして帰ります。人間の  
生涯のようでもあります。そ  
こに、私たちは、生のはかな  
さ・わびしさに敏感な日本人  
の伝統的な感性を重ね合わせ  
ます。

しかし、神は、イエス様を  
「死」からよみがえらせ、人  
間を含むすべての命にとつて  
「死」という決定的と思える  
「ゴール」を、今や突き抜け  
て「神の国」の現実「永遠の  
命」という「新しい命」の現  
実へと私たちを導き入れられ  
ました。私たちの「いのち」  
は、ただ一枚の葉として枯れ  
て、むなしく土に還るのでは  
なく、イエス・キリストとい  
う大きく、深い人格の介入に  
よって、即ちイエス様に結ば  
れて異なる意味を持つようにな  
りました。その事を、使徒  
たち初代教会の信徒たち世々  
のキリスト者たちは証してき  
ました。そして私たちもその

しかし、同時にキリスト者  
である私たちは、十字の形に  
折られた一枚の葉の、かけが  
えのなさ、力強さを感じる  
事ができるはずで。主イエ  
ス・キリストは、私たちと変  
わる所のない、平凡な一枚の

一員に加えられています。  
今年の大斎節前主日の福音  
日課は、福音記者ルカが記す  
「山の上でのイエス様の変容」  
の出来事でした。その中に、  
イエス様がモーセとエリヤと  
共に語り合った場面が出て参  
ります。マタイ福音書とマル  
コ福音書は、イエス様が彼ら  
と語り合っていたとだけ記し  
ますが、ルカだけがその内容  
に触れて、「イエスがエルサ  
レムで遂げようとしておられ  
る最期について話していた」  
と記しています。

この「最期」と訳されてい  
る言葉には、元々は「エクソ  
ドス」という言葉が用いられ  
ています。エクソドスは、外  
へという意味を表す(エクス)  
という言葉と、道とか旅を表  
す(ホドス)という言葉から  
成り立っています。ですから  
「エクソドス(エクス・ホド  
ス)」という言葉の本来の意  
味は、「さいご」から連想し  
がちな、おしまい・終了・一  
巻の終わり、という事ではな  
く、新たな旅への出発、新た  
な道への突破という意味だと

捉えるべきでしょう。出エジ  
プト記の事を「エクソドス」  
いわば(脱出記)と伝統的に  
言い表してきたのも、そのた  
めです。イエス様は、すべて  
の人を、「罪」と「死」から  
の脱出・突破の「道連れ・同  
伴者」とすべく、山上でモー  
セ・エリヤと語り合った。そ  
のように言えるのではないで  
しょうか。

「死」を打ち破る特別な「死」  
は、言うまでもなく、イエス  
様の「十字架の死」です。そ  
の特別さは、イエス様ご自身  
が「罪」を犯さなかったとい  
う事に留まりません。その特  
別さは、イエス様の十字架の  
汗と涙と血、苦痛と傷とが、  
すべての人の汗と涙と血、苦  
痛と傷とに結びつき一つと  
なって下さるからです。私た  
ちと一つになって「死」を引  
き受け「新しい命」への導き  
手となって下さるイエス様の  
お働きは決定的なものです。  
私たちがそこに何かを加えた  
り差し引いたりすることはで  
きません。しかし、幸いな事  
に、イエス様のお働きに、私

たちは応答することが許さ  
れ、応答する事へと招かれて  
います。その二つの招きの言  
葉を聴きたいと思えます。イ  
エスは言われた。「あなたが  
たに新しい掟を与える。互い  
に愛し合いなさい。わたし  
があなたがたを愛したよう  
に、あなたがたも互いに愛し  
合いなさい。」(ヨハネ一三:  
三四)。イエスは、皆に言わ  
れた。「わたしについて来た  
い者は、自分を捨て、日々、  
自分の十字架を背負って、わ  
たしに従いなさい。」(ルカ九:  
二三) イエスのこの言葉は、  
「救われた者」の新たな生き  
方を示しています。今日、私  
たちが捧げる懺悔と嘆願、そ  
して復活日までの四〇日の生  
活は、エクソドスすなわち「新  
たな命への旅」の重要な一部  
です。その旅人のシンボルが  
「しゅろの十字架」であり「灰  
の十字架」です。

※大斎始日における説教ですが、  
復活の使徒へと導く黙想とし  
て、お読みくださるなら幸い  
です。『北海の光』編集委員会



▽留萌キリスト教会

読書に励んだ三月、「サビールの祈り」を輪読。イスラム、ムスリム、ナクバ、アイデンティティ、ホロコースト、シオニスト、ハラハー…。各駅

停車の鈍行です。平均年齢約八〇歳には骨が折れますが、民族浄化が平然と行われている惨状に心を痛めながら読んでいます。日本のアイヌ、在日、少数者と呼ばれる存在の側からとらえる社会のあり様に、敏感でありたいです。

三二日植松主教の巡回日。名寄の藤井さん夫妻、信人さん一麻ちゃん親子も来て嬉しい春の到来を喜びました。

▽有珠聖公会

三月二四日の午後、聖餐式。

礼拝後「大斎節・聖週中の聖公会の伝統的な諸礼拝」についてスライドを見ながら学びました。四月二十九日に予定されている「三浦綾子読書講演会」の準備打ち合わせをしました。既に市内各所にチラシを配布。今回は、三浦綾子文学記念館の森下辰衛先生を講師に迎え「愛の鬼才西村久蔵の歩んだ道」を取り上げます。教会敷地の一角に、有珠周遊の貸し出し自転車のためのシェア・サイクルステーションが試験的に設置されます。

▽平取聖公会  
内海司祭の食道部の入院手術は無事終了し、健康回復に努めておられます。保育園の卒園式で一六名が卒園しました。とても素敵なお祈りの言葉や聖歌がホールに響いていました。

剥離しない程度の修復と土台のひび割れの大きな部分の補強などです。四月一日保育園は入園式を迎えます。

▽函館聖ヨハネ教会  
昨年の記録的豪雪とは反対に、三月上旬は暖かな雪融けを迎えました。灰の水曜日、大斎節中は十字架の道行を学んでいます。一七日は主教様ご巡錫・四名の方の堅信式。婦人会でお話も頂きました。中下旬はまたも冬に逆戻り、三一日は小雪の舞う礼拝になりました。春に向けて今年一回目の聖堂コンサートのお知らせも完成、チケット取扱いは始まっています。四月二八日は、ジャズのしらべなどいかがでしょうか？桜前線も海峡のすぐ向こうまで来ています。陽春の到来が待ちどおしい、函館でした。

▽苦小牧聖ルカ教会  
一日、世界祈禱日が日本キリスト教会苦小牧教会で行われ、八名が参加。六日は大斎節始日礼拝。みんなで額に灰の十字架を受けました。

一六日は新園舎になって最初の卒園式。厳かな雰囲気の中、二四名の子どもたちが巣立っていきました。

二二日には今年度のマーマレードのための仕込みを行いました。作業する人が少なくて大変です。

大斎節の集会も行われています。二二日は十字架の道行礼拝、二七日は映画上映会で「サン・オブ・ゴッド」を観ました。祈りと黙想のうちによき復活節を迎えられるようにお祈りしています。

三月二六日、今福宜之さんが逝去されました。魂の平安と永遠の光明をお祈りします。今月から、大村倫子さんデザインの可愛い『まるちゃん感謝金袋』を皆で使いはじめました。

三月六日の大斎始日に、今年の「棕櫚の十字架」を焼いて灰を作りました。それを用いて一〇日の大斎節第一主日の礼拝の中で額に十字のしるしを刻んでいただきました。

三六三年になる由。私たちが

出会ってからも三六年。懐かしい話が尽きず、おいとましたのほもう夜の九時半であつた。

▽帯広聖公会  
なんだか、雪の少ない冬でした。三月一七日、礼拝の後で(共に生きる集い)『道ありき』森下辰衛さんの講演がありました。他教会からの参加者を含めて三三名が集いました。三月一八日、聖公会幼稚園の卒園式でした。卒園生の幸せと信徒が一人でも多く与えられることを祈ります。

三月二六日、今福宜之さんが逝去されました。魂の平安と永遠の光明をお祈りします。今月から、大村倫子さんデザインの可愛い『まるちゃん感謝金袋』を皆で使いはじめました。

三月六日の大斎始日に、今年の「棕櫚の十字架」を焼いて灰を作りました。それを用いて一〇日の大斎節第一主日の礼拝の中で額に十字のしるしを刻んでいただきました。

三月二四日の午後、聖餐式。



あなたは塵から生まれたのだから…。この日の礼拝には、昨年逝去された本田邦子さんのご主人の久夫さんも出席されました。

一七日「大斎節第三主日」、久しぶりに熊谷まき子さんが和彦さん、智恵美さんとともに出席されました。こここのころ、雪模様の日が続いていきますーもう、春なのに。

▽札幌聖ミカエル教会

世界祈祷日礼拝に婦人会から一名が出席。六日夜、大斎始日礼拝、静かに十字架への歩みを始める。八日、プール学院中学校の生徒職員八〇名が修学旅行で来会、礼拝を共にする。一〇日、卒園する園児一四名が日曜学校に出席。教会に繋がることをみんなで祈る。一九日、幼稚園は卒園式を行い、二九名が巣立つ。三一日、大斎講話として大友司祭より、愛と平和の歩みを伺い感謝。同日、国際青年寮は二九年の歩みを終え閉寮、礼拝中、感謝の祈りを捧げる。礼拝後は三五名が出席

して付属施設の今後を考える会を開催、笑いあり、望みありの話し合いとなる。子どもたちの斬新な発想に拍手。

▽新札幌聖ニコラス教会

上平執事による大斎講話(テーマは聖餐式)に耳を傾けながら、改めて教会でのそれぞれの働き、地域に向けての発信の在り方などを考える有意義な時間を過ごしています。

三月一〇日には、植松主教がいらして下さるうれしいハプニング。礼拝の後のささやかなお茶会で恵みのひとときを過ごすことができました。感謝。可愛い兄弟の声が聞こえてくる主日礼拝。待ちわびるイースター。去年みんなです整えた教会の前庭のムスカリやスイセン。根付いて芽を出してくれそうですよ。

▽旭川聖マルコ教会

三月一日当教会を会場に、世界祈祷日礼拝が、市内一二教会より七四名の出席で行われました。

大斎中に三回の「レントの

集い」が計画されています。その第一回目が久末宅で昨年の教区修養会の講演「私たちの祈りと生活」祈祷書の豊かさ再発見」のビデオを見ながら学びました。

九日保育園の卒園式が礼拝堂にて行われました。一二名の大きくなった園児を祈りのうちに、職員・保護者と共に祝い送りました。

▽岩見沢聖十字教会

三月は別れの季節。二〇日、幼稚園の卒園式。年長三九名が巣立って行く。式退場時、有本園子姉、畠山洋子姉より教会から花一輪が卒園児と教師に贈られる。教職員四名も退職。良きお働きに感謝します。

二四日、池田亨司祭司式による聖餐式。『灰の式』を行う。司祭より「あなたは塵であり、塵に帰る」と額に灰の十字架を授かる。頭から灰を被るの

は、聖書の世界では昔から悔い改めの印とのこと。

今月は好天氣が続く一気には雪解けが進む。新年度に向けて園では準備の真っ最中。

▽釧路聖パウロ教会

▽厚岸聖オーガスチン教会

四月、主の復活を迎える季節、様々な場所では年度替わりを迎えるころとなりました。保育園も一名の子どもたちを小学校へ送り出し、主任保育士は佐藤真由美先生から小峯知子先生にバトンタッチ、五名の新入園児(普段は〇)を迎えました。佐藤先生は囑託として残ってくださいます。感謝です。

教会では松井司祭様の帯広兼務が滞りなく終わられることを感謝しております。四月六日厚岸で礼拝・家庭集会を行いました。手塚治虫のDVDをみんなで観ようと集まりました。厚岸での集いを不定期ではありますが、やっていきたいと思えます。「厚岸での集いはいつ?」と松井司祭様まで連絡いただければと思

います。皆さん厚岸で会いましょう!

▽札幌キリスト教会

三月六日、植松主教司式による道央分区合同の大斎始日礼拝。大斎節中の特別集会として、一七日「旅する青年たち」と題した吉野礼さんのお話、三一日「聖週の礼拝の豊かさを学ぶ」と題した大町司祭による講話を開催。一五日「聖書と共に歩む女性の集い」、一六日「キリスト者詩人ユン・ドンジュを語り継ぐ会」、二四日、当教会出身の三浦千晴神学生を囲む会が八角堂にて開催。釧路聖パウロ教会より早川恭子さん、神戸聖ヨハネ教会より松浦奈子さんが仲間。これからの信仰生活と交わりが祝福されますように。

▽小樽聖公会

三月一日(金)、小樽地区の世界祈祷日礼拝が日本キリスト教団小樽公園通教会で行われ、市内八教会から四六名が参加、当教会からは四名出席いたしました。三日(日)

の主日は植松主教様が小樽に  
来てくださり、植松主教によ  
る司式、永谷司祭による説教  
で聖餐式がささげられまし  
た。愛餐も共にでき感謝です。

六日(水)の大斎始日・灰の  
水曜日礼拝では一同、額に灰  
の十字架を受け、続く大斎節  
第一主日の礼拝では共同懺悔  
を行いました。

▽室蘭聖マタイ教会

雪がなく暖かい日が続いて  
おります。三日、藤井兄司式  
のみ言葉の礼拝後、斉藤篤様  
より頂いた書架を神学校へ送  
るため整理箱詰め、四日発送  
する。一〇日吉野司祭来教、  
大斎節第一主日、棕櫚の十字  
架の灰で額にしるしを頂き聖  
餐を受ける。他教の山岸さん  
も共に。昼食後委員会、毎  
月二週目に委員会を行う。牧  
師館解体の話し合い、拓建興  
業にほぼ決まる。二四日、一  
面の雪、冬に戻ったような日  
の午後吉野司祭来教。平さん  
の長女福島さん来会、共に聖  
餐を受ける。礼拝後拓建興業  
と仮契約を結ぶ。早ければ連

休明けから解体の予定です。  
三一日、藤井兄司式のみ言葉  
の礼拝守られる。

▽聖マーガレット教会

三月一日カトリック北二一  
条教会での世界祈祷日、天候  
に恵まれ三〇〇名近い参加者  
に加われました。三日主日礼  
拝は逝去者記念聖餐式に暫く  
振りの方々にお会い出来まし  
た。六日大斎始日道央分区分  
礼拝に出席出来ない方もいらし  
たので一〇日大斎節第一主日  
聖餐式で「灰の十字のしるし」  
を受けることが出来ました。

一三日婦人会仕事会、一七日  
み言葉の礼拝、二一日トマス・  
克蘭マー小祝日三浦修嗣さ  
んの洗礼式、二四日植松主教  
様の司式説教の豊かな恵みに  
感謝。夕五時神学生を囲む会  
に参加。復活祭を待つ日々で  
す。

▽紋別聖マリヤ教会

日増しに春めいてきました  
が紋別地方は春のあらしで積  
雪三六cmの雪が降りました。  
三月三日教会委員会、その後  
吉山家の家庭祭壇祝別式が行

われ教会の人達とお祈りをし  
て頂きました。幼稚園では第  
六三回紋別幼稚園卒園式が行  
われました。園児の緊張した  
様子、お父さんお母さんの感  
無量の様子、いつもの光景で  
すが、元気に育って欲しいと  
願うばかりです。一九日の終  
業式で春休みに入ります。

主に感謝です。

▽今金インマヌエル教会

今月は一〇日の大斎節第一  
主日の中で灰の水曜日礼拝を  
行いました。この時期になる  
と自分の罪を思い返し…ただ  
ただ懺悔の四〇日間になって  
しまいがちではありますが、  
今年はまだ一歩成長した大斎  
節を願います。二四日の礼  
拝の後、来月一四日の主教師  
巡錫に合わせ行われる種の祝  
福礼拝と祝会について話し合  
われ、それぞれの好物が次  
から次へと飛び交い、とても  
楽しい会議でした。今年には雪  
も少なく春が早足でやって来  
そうですが、我が教会では農  
業従事者が多いので逆に夏の  
雨量が心配です。

▽北見聖ヤコブ教会

春と冬の間を行ったり来た  
りの北見です。

三月一日世界祈祷日礼拝が  
日本キリスト教会北見教会で  
あり当教会より四名が出席、  
親睦会では司祭のギターによ  
り参加者全員で池田司祭が作  
られた『主こそ力 主こそ我  
が歌』を歌いました。終了後  
ヤコブの参加者四名で昼食を  
共にいたしました。一七日灰  
の十字のしるしをいただく礼  
拝をいたしました。司祭は里  
親研修を受けたり、教誨のた  
め網走刑務所へ行ったりして  
います。

そろそろ春かなあゝ

▽網走聖ペテロ教会

暖かいようなそうでもない  
ような網走です。

世界祈祷日礼拝が三月八日  
当教会であり、教派を超えた  
祈りと親睦の時間が持たまし  
た。一〇日灰の十字のしるし  
をいただく礼拝、一五日ペテ  
ロの会、二〇日野田さん宅で  
の逝去者記念式、二一日勉強  
会と続き、四月三日には和田

弓姉宅で大斎家庭集會が行わ  
れます。

月一の勉強会はマルコ福音  
書を少しずつ進み、司祭によ  
る簡単な解説の後、互いに分  
かち合います。霊的な滋養物  
をいただく時となつていま  
す。

▽深川聖三一教会

三月九日、深川あけぼの新  
園舎建設作業終了で引越  
す。保護者のご協力に感謝。  
一日より園児は新園舎で爆  
発的に走り廻る。一六日、保  
育園四六回卒園式、高木和枝  
さん祝辞をのべられる。八名  
卒園。主イエスのみ守りを祈  
る。二〇日、高木維作、真地  
子、久里子三氏の教籍を送る。

三一日、委員会にて保育園の落  
成式への対応を相談。教会か  
ら保育園への小型祭壇完成、  
一六万円。これは飼葉桶型、  
保育園の象徴、意匠「自己犠  
牲のペリカン母子の像」をは  
めこんだもの。園児の魂に役  
立ちたい。